

階段の転落防止柵

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			2,159	28.8		
いいえ			2,151	28.7		
該当しない			3,063	40.9		
無回答			117	1.6		
合計			7,490	100.0		
実施率(正解率)				50.1		

安定の良い椅子の使用

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			7,114	95.0		
いいえ			243	3.2		
無回答			133	1.8		
合計			7,490	100.0		
実施率(正解率)				96.7		

安全なドアの開閉

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			7,102	94.8	6,926	92.8
いいえ			303	4.0	470	6.3
無回答			85	1.1	64	0.9
合計			7,490	100.0	7,460	100.0
実施率(正解率)				95.9		93.6

家具などの角の配慮

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			2,466	32.9		
いいえ			4,919	65.7		
無回答			105	1.4		
合計			7,490	100.0		
実施率(正解率)				33.4		

テレビ台への配慮

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			3,530	47.1		
いいえ			3,483	46.5		
該当しない			402	5.4		
無回答			75	1.0		
合計			7,490	100.0		
実施率(正解率)				50.3		

かみそりや包丁の片付け

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい			7,345	98.1	7,163	96.0
いいえ			75	1.0	242	3.2
無回答			70	0.9	55	0.7
合計			7,490	100.0	7,460	100.0
実施率(正解率)				99.0		96.7

交通ルールを教える

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					7,087	95.0
いいえ					346	4.6
無回答					27	0.4
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						95.3

水遊びの監視

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					7,195	96.4
いいえ					236	3.2
無回答					29	0.4
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						96.8

子どもだけで川や池に

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					127	1.7
いいえ					7,285	97.7
無回答					48	0.6
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						98.3

箸などをくわえて走り回る

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					2,704	36.2
いいえ					4,679	62.7
無回答					77	1.0
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						63.4

引き出しやドアで遊ぶ

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					3,995	53.6
いいえ					3,389	45.4
無回答					76	1.0
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						45.9

すべり台やブランコの乗り方

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					6,814	91.3
いいえ					575	7.7
無回答					71	1.0
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						92.2

遊んでいる様子の観察

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					7,069	94.8
いいえ					334	4.5
無回答					57	0.8
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						95.5

ベランダに踏み台を置く

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					983	13.2
いいえ					6,404	85.8
無回答					73	1.0
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						86.7

腕を強く引っ張る

	3, 4ヶ月児	%	1歳6ヶ月児	%	3歳児	%
はい					1,794	24.0
いいえ					5,587	74.9
無回答					79	1.1
合計					7,460	100.0
実施率(正解率)						75.7

表3-33 実施率（正解率）の推移（1歳6ヶ月児）

項目	平成17年	平成13年
ベビー用品の安全性を重視して購入	71.5	75.2
子どもを1人で家や車に残さない	88.5	87.2
チャイルドシートの使用	84.4	86.7
バケツなどに水を貯めておかない	86.9	85.8
浴槽に水を貯めておかない	69.2	64.3
浴室のドアに子どもが1人では入れない工夫	32.0	31.3
敷布団は硬めの物を使用	84.2	85.2
タバコを子どもの手の届くところに置かない	94.8	93.5
ピーナッツやあめ玉などを子どもの手の届くところに置かない	93.1	93.8
小物を子どもの手の届くところに置かない	94.7	94.1
医薬品、洗剤などの誤飲対策	82.9	83.5
テーブルクロスの不使用	87.7	87.4
ポットや炊飯器を子どもの手の届くところに置かない	84.3	85.1
暖房器具のやけど対策	86.3	75.6
階段に転落防止用柵	50.1	45.8
子ども用の椅子は安定の良いものを使用	96.7	96.7
ドアの開閉時に子どもの指の位置の確認	95.9	95.7
家具の鋭い角のガード	33.4	32.0
ビデオデッキのテープ口に指を入れない対策	50.3	47.5
包丁などを使用後に片付ける	99.0	98.1
事故対策の実施状況の平均得点	77.9	78.8
満点の者の割合	4.5%	4.2%

表3-34 実施率（正解率）の推移（3歳児）

項目	平成17年	平成13年
子どもを1人で家や車に残さない	87.6	85.7
チャイルドシートの使用	67.8	81.5
子どもに交通ルールを教える	95.3	95.9
浴槽に水を貯めておかない	67.8	59.9
浴室のドアに子どもが1人では入れない工夫	15.5	14.6
水遊びをするときに大人が付き添う	96.8	96.7
子どもだけで川や海に行かせない	98.3	99.2
医薬品、洗剤などの誤飲対策	64.6	66.6
ピーナッツやあめ玉などを子どもの手の届くところに置かない	69.1	53.0
タバコを子どもの手の届くところに置かない	81.8	82.4
熱い物を子どもの手の届くところに置かない	93.7	93.5
暖房器具のやけど対策	66.1	51.7
包丁などを使用後に片付ける	96.7	92.6
ドアの開閉時に子どもの指の位置の確認	93.6	93.2
お箸や歯ブラシを加えて走らないように注意	63.4	67.7
引き出しやドアの開閉で遊ぶことに対する注意	45.9	45.8
すべり台やブランコの安全な乗り方の指導	92.2	92.1
子どもの遊びの安全を確認	95.5	96.4
ベランダや窓の側に踏み台を置かない	86.7	87.8
子どもの腕を強く引っ張らないように注意	75.7	75.4
事故対策の実施状況の平均得点	76.6	77.8
満点の者の割合	2.9%	1.8%

## 「健やか親子 21」推進の効果に関する研究

～妊娠・出産期、子育てにおける満足度に影響を与える要因

及び次の出産意欲への影響要因について～

櫃本真事（愛媛大学病院医療福祉支援センター）  
藤内修二（大分県福祉保健部健康対策課）

### 要 旨

【目的】妊娠・出産期及び子育て中における満足度に影響を与えている要因や、時期  
出産希望に影響を与えている要因等について分析し、健やか親子 21 の推進を通じて、  
わが国における少子化対策に向けた子育て環境整備のあり方を提言する。

【方法】「健やか親子 21」の中間評価のために収集されたデータから、特に 3、4 ヶ  
月児の健診時の調査票からの項目を用いて、1) 妊娠・出産及び子育て満足度及び次  
の妊娠希望の現状、2) 妊娠・出産満足度と各要因との関連、3) 子育て満足度と各  
要因との関連、4) 次の妊娠希望と各要因との関連に着目して検討した。

【結果】妊娠・出産の満足度が、子育ての満足度向上につながり、ひいては次の妊娠主  
体的に考えるとといった流れが推測された。出生率低下への対策は、これら満足度の向上  
だけでは解決し難いものの、少子化時代において、妊娠・出産時の満足度を上げるため  
に、保健・医療・福祉等に関する社会資源全体の取り組みは、直接的な子育て支援と勝  
るとも劣らない極めて重要な取り組みと思われた。特に地域環境整備に向けた行政や専  
門家等のマネジメント機能が重要であると考えられた。

### A. 目的及び方法

研究班全体の目的や方法は、分担研究報告  
書「健やか親子 21 推進の効果に関する研究  
～事故防止対策の効果～」に記載された通り  
である。この報告は、特に妊娠・出産期及び  
子育て中における満足度に影響を与えてい  
る要因や、次期出産希望に影響を与えている  
要因等について分析することにより、健やか  
親子 21 の推進を通じて、わが国の少子化対  
策に向けた子育て環境整備のあり方を提言

する。

当研究班で行った調査の内、3、4 ヶ月児  
の健診時の調査票を取り上げ。この中の項目  
から以下を抽出し、1) 妊娠・出産及び子育  
て満足度及び次の妊娠希望の現状、2) 妊娠・  
出産満足度と各要因との関連、3) 子育て満  
足度と各要因との関連、4) 次の妊娠希望と  
各要因との関連に着目して検討した。

なお、2)～4)のクロス集計については、  
 $\chi^2$ 乗検定を用いて、1%及び5%以下を有

意な関連ありとして分析した。

## 調査票から抽出した項目

- ① 出産場所
- ② 母児同室の有無
- ③ 妊娠・出産についての状況
- ④ 妊娠・出産について満足している項目
  - ・「いいお産」に向けての自分自身の頑張り（妊娠中）
  - ・「いいお産」に向けての自分自身の頑張り（お産）
  - ・産科施設に関する情報
  - ・専門職（産婦人科医，小児科医，助産師，その他）による継続的な関わり
  - ・産婦人科医の技術
  - ・産婦人科医の指導・対応
  - ・助産師の技術
  - ・助産師の指導・対応
  - ・産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの技術
  - ・産婦人科医，助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応
  - ・保健センター・保健所等のサービス
  - ・夫の理解や対応
  - ・その他の家族・親族の理解や対応
  - ・友人の理解や対応
  - ・職場の理解や対応
  - ・社会の理解や対応
  - ・妊娠中の受動喫煙への配慮
- ⑤ 次のお子さんを産みたいと思いますか。
- ⑥ 生後1か月時の栄養法はどうでしたか。
- ⑦ 現在の子育ての状況はいかがですか。

## B. 結果

### 1) 妊娠・出産及び子育て満足度及び次の妊娠希望の現状

#### 1. 妊娠・出産の満足度の現状

「とても満足している」(38.2%)「満足している」(56.0%)「あまり満足していない」(5.3%)「全く満足していない」(0.5%)「満足している」以上の割合が95%近くを占めている。

#### 2. 子育て満足度の現状

「満足している」(42.8%)「まあ満足している」(51.4%)「あまり満足していない」(5.2%)「満足していない」(0.6%)  
「まあ満足している」を加えると、「満足している」のが全体の94.2%と高い割合を占めている。

#### 3. 次の妊娠希望の現状

「産みたい」(36.2%)「どちらかといえば産みたい」(24.6%)「どちらかといえば産みたくない」(19.5%)「産みたくない」(19.7%)であり，産みたいが，「どちらかといえば」を含めると，60.8%と過半数を超えたが，妊娠・出産や子育て満足度の高さに比して低い状況であった。

### 2) 妊娠・出産満足度と各要因との関連

#### 1. 出産場所について

数は少ないが「助産所」の「とても満足している」(75.0%)が最も高く，続いて「診療所」(40.0%)となり，「病院」(36.6%)が最も低い結果となり，有意差が認められた

#### 2. 母児同室について

「24時間同室」の「とても満足している」(40.8%)が最も高く、続いて「一部同室」(36.2%)「別室」(34.1%)の順となり、同室の方が満足度の高いことが有意差をもって認められた。

### 3. 妊娠・出産時において満足・不満足

#### だった項目との関連について

以下の項目について、「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、妊娠・出産に「とても満足している者」の中での割合を見た。

1) いいお産をするための自分自身の頑張り(妊娠中)

①43.8%, ②29.7%, ③23.9%, ④26.9%

2) いいお産をするための自分自身の頑張り(お産)

①42.6%, ②27.1%, ③35.0%, ④18.4%

3) 産科施設に関する情報

①44.2%, ②31.8%, ③43.8%, ④25.5%

4) 専門職(産婦人科医, 小児科医, 助産師, その他)による継続的な関わり

①44.2%, ②32.9%, ③27.8%, ④22.3%

5) 産婦人科医の技術

①41.3%, ②30.5%, ③8.3%, ④16.2%

6) 産婦人科医の指導・対応

①42.5%, ②27.8%, ③15.8%, ④18.2%

7) 助産師の技術

①41.8%, ②29.2%, ③50.0%, ④17.6%

8) 助産師の指導・対応

①42.0%, ②28.0%, ③46.2%, ④17.8%

9) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術

①41.9%, ②30.7%, ③7.1%, ④23.0%

10) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応

①42.4%, ②29.6%, ③16.0%, ④22.3%

11) 産科施設の設備や食事等の快適さ

①41.7%, ②30.3%, ③16.1%, ④28.3%

12) 保健センター・保健所等のサービス

①41.7%, ②33.9%, ③30.8%, ④33.1%

13) 夫の理解や対応

①40.7%, ②30.3%, ③39.5%, ④26.4%

14) その他の家族・親族の理解や対応

①40.3%, ②30.0%, ③33.3%, ④24.0%

15) 友人の理解や対応

①40.6%, ②29.7%, ③37.5%, ④24.4%

16) 職場の理解や対応

①43.0%, ②34.6%, ③33.3%, ④33.0%

17) 社会の理解や対応

①43.9%, ②34.6%, ③39.4%, ④31.7%

18) 妊娠中の受動喫煙への配慮

①41.7%, ②35.0%, ③42.9%, ④35.3%

以上のように、妊娠・出産において「とても満足している」と回答した中で、ほぼ全ての項目において、「満足」と回答した割合が最も高かった。

また、クロス集計による $\chi^2$ 乗検定により、全ての項目において、それぞれの満足度の高さが、有意差をもって、妊娠・出産の満足度向上に寄与していることが明らかとなった(表1)。

#### 4. 妊娠・出産について不満と答えた項目数と関連について

前述した項目のそれぞれではなく、不満と回答した項目数との関連について検討した。

不満数の数が増えればそれにしたがって有意に満足度も低下している。19項目のうち、数は少ないが不満数が13を超えてくるとかえって満足度が上昇するといった傾向が見られるものの、12までは不満数と満足度の低下の関係が明瞭である。

#### 5. 次の妊娠との関連について

次の妊娠を考えている人の過去の妊娠・出産満足度は、「はい」(47.3%)「どちらかといえば、はい」(35.1%)「どちらかといえば、いいえ」(32.9%)「いいえ」(30.1%)であり、次の妊娠を考えている者ほど、妊娠・出産の満足度が有意に高いことが明らかとなった。

#### 6. 子育ての満足度との関連について

「満足している」(53.6%)「まあ満足している」(27.8%)「あまり満足していない」(15.6%)「満足していない」(11.1%) 子育ての満足度の高いほうが、妊娠・出産時の満足度も高かったことが、有意に認められた。

### 3) 子育て満足度と各要因との関連

#### 1. 出産場所について

有意な関係性は認められなかった。

#### 2. 母児同室について

「24時間同室」の満足度(44.8%)が最も高く、続いて「一部同室」(41.0%)「別室」(40.5%)の順となり、妊娠・出産との関連

ほどではないが、24時間同室の満足度が高いことが、有意差をもって認められた。

#### 2. 妊娠・出産の満足度の関連

妊娠・出産の満足度における子育て満足度の割合は、「とても満足している」(60.3%)「満足している」(33.0%)「満足していない」(24.1%)「全く満足していない」(34.5%)であり、有意差をもってその関連が認められ、特に「とても満足している」と他の項目では明らかな違いがあった。

#### 3. 妊娠・出産時において満足・不満足だった項目との関連について

以下の項目について、「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、子育てにおいて「とても満足している者」の中での割合を見た。

1) いいお産をするための自分自身の頑張り(妊娠中)

①48.7%, ②34.3%, ③23.9%, ④31.0%

2) いいお産をするための自分自身の頑張り(お産)

①45.9%, ②35.1%, ③35.0%, ④29.4%

3) 産科施設に関する情報

①46.7%, ②39.2%, ③37.5%, ④34.1%

4) 専門職(産婦人科医, 小児科医, 助産師, その他)による継続的な関わり

①47.1%, ②38.7%, ③27.8%, ④32.3%

5) 産婦人科医の技術

①44.7%, ②37.0%, ③41.7%, ④35.3%

6) 産婦人科医の指導・対応



①44.9%, ②36.0%, ③38.9%, ④36.6%

7) 助産師の技術

①44.2%, ②39.4%, ③30.0%, ④36.6%

8) 助産師の指導・対応

①44.2%, ②39.6%, ③23.1%, ④35.8%

9) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術

①45.3%, ②37.9%, ③21.4%, ④33.0%

10) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応

①45.4%, ②37.9%, ③41.7%, ④31.5%

11) 産科施設の設備や食事等の快適さ

①44.6%, ②38.9%, ③36.7%, ④37.9%

12) 保健センター・保健所等のサービス

①47.2%, ②38.8%, ③36.0%, ④31.0%

13) 夫の理解や対応

①46.3%, ②33.9%, ③37.2%, ④24.4%

14) その他の家族・親族の理解や対応

①45.7%, ②32.6%, ③33.3%, ④21.0%

15) 友人の理解や対応

①45.3%, ②35.0%, ③37.5%, ④19.2%

16) 職場の理解や対応

①47.8%, ②39.7%, ③63.6%, ④35.0%

17) 社会の理解や対応

①50.0%, ②39.9%, ③45.5%, ④30.8%

18) 妊娠中の受動喫煙への配慮

①48.4%, ②40.3%, ③33.3%, ④35.9%

以上のように, 子育てにおいて「満足している」と回答した中で, ほぼ全ての項目において, 「満足」と回答した割合が最も高かった。

また, クロス集計による  $\chi^2$  乗検定により,

全ての項目において, それぞれの満足度の高さが, 妊娠・出産と同様に, 有意差をもって子育ての満足度向上に寄与していることが明らかとなった(表1)。

#### 4. 妊娠・出産について不満と答えた項目数と関連について

妊娠・出産時との関連ほど明瞭ではなく多少のばらつきも見られるが, 不満数の数が増えればそれにしたがって有意に満足度も低下している。

#### 5. 次の妊娠との関連について

次の妊娠を考えている人の過去の妊娠・出産満足度は, 「はい」(52.8%) 「どちらかといえば, はい」(38.6%) 「どちらかといえば, いいえ」(36.3%) 「いいえ」(36.4%) 次の妊娠を考えている者ほど, 妊娠・出産の満足度が有意に高いことが明らかとなった。

#### 6. 栄養法との関連について

「母乳」(45.5%) 「混合」(40.0%) 「人工乳」(44.0%) であり, 母乳栄養の方が, 子育ての満足度が高く, 5%以下の危険率ではあるが有意差が認められた。

#### 4) 次の妊娠希望と各要因との関連

##### 1. 出産場所について

有意な関係性は認められなかった。

##### 2. 母児同室について

「24時間同室」の満足度(38.1%)が最も高く, 続いて「別室」(34.8%) 「一部同室」(32.4%)の順となり, 妊娠・出産との関連ほどではないが, 24時間同室の満足度が高いことが, 有意差をもって認められた。

### 3. 次の出産希望と妊娠・出産時の満足度に関する項目との関連

「満足」(以後①)「どちらでもない」(以後②)「少し不満」(以後③)「満足していない」(以後④)の4つにわけ、前述の各調査項目について「次の出産希望」との関連を見た。有意な関係が認められたもののみ以下に記載した。

#### 1) 保健センター・保健所等のサービス

①38.6%, ②33.6%, ③25.9%, ④31.1%

#### 2) 夫の理解や対応

①39.0%, ②27.2%, ③25.6%, ④24.3%

#### 3) その他の家族・親族の理解や対応

①38.0%, ②27.8%, ③35.0%, ④27.4%

#### 4) 友人の理解や対応

①37.9%, ②30.7%, ③14.3%, ④22.8%

#### 5) 職場の理解や対応

①42.2%, ②29.6%, ③36.4%, ④39.2%

#### 6) 社会の理解や対応

①39.9%, ②33.8%, ③39.4%, ④31.9%

#### 7) 妊娠中の受動喫煙への配慮

①39.2%, ②31.7%, ③33.3%, ④35.7%

#### 8) 産婦人科医の指導・対応

①37.3%, ②32.2%, ③44.4%, ④33.1%

#### 9) 産婦人科医, 助産師以外の産科施設スタッフの技術

①37.4%, ②33.7%, ③42.9%, ④29.7%

以上のように、「次の出産を希望している」と回答した中において、1)~7)項目においては、「満足」と回答した割合が最も高かった。また、クロス集計による $\chi^2$ 乗検定により、

1)~7)に関しては、1%以下の危険率で、8,9)については5%以下の危険率で有意差が認められた。

### 4. 妊娠・出産について不満と答えた項目数と関連について

不満数との関連は認められなかった。

### 5. 子育て満足度との関連について

子育て満足度にける次の出産を希望しているものの割合は、「満足している」(44.5%)「まあ満足している」(31.7%)「あまり満足していない」(13.3%)「満足していない」(22.2%) 次の妊娠を考えている者ほど、子育て満足度が有意に高いことが明らかだった。

### 6. 栄養法との関連について

「母乳」(37.4%)「混合」(35.8%)「人工乳」(30.2%)であり、母乳栄養の方が、子育ての満足度が高く、5%以下の危険率ではあるが有意差が認められた。

## C. 考 察

1) 妊娠・出産及び子育ての満足度は、いずれも95%を占めており、思いのほか高いことがうかがえた。この両者はどちらから見ても互いに関係しており、それぞれの要因も共通していることがわかった。次の妊娠希望については、これらほど高い状況ではなく、必ずしもこれら満足度が高ければ、次の妊娠につながるといったものではなく、他の因子の影響が少なからずあることが推測された。

2) 妊娠・出産において、医療設備が整って

おり、安全性の点でも高い病院が、満足度の点でやや劣るのは、患者（住民）が求めているものが、安全性よりもむしろ親近感や相談しやすいなど、妊娠出産を医療というよりは、生活の中で安心感や信頼感を求めていることが推測される。

妊婦にとって、入院時ぐらいは、育児から少しでも開放されたほうが、快適性が増すと考えられるが、実際には、出産直後から同室であることが結果的に満足度を上げていることが理解できる。分娩機関としては、むしろ同室の方が管理し難く手間もかかることから、本来のニーズにどう応えていくか、この結果を受け止め検討していく必要がある。

3) 調査票の妊娠・出産期における一連の項目は、妊婦自身、分娩機関やスタッフ、行政、夫や家族、友人や職場、そして受動喫煙への配慮その他社会環境など、妊婦自身の課題だけでなく、当事者を囲む周囲の環境まで多方面にわたっている。これらの要因が、妊娠・出産及び子育ての満足度の両者に共通して見られ、これらの状況を改善することが、これら満足度を向上させる上で極めて効果であることが明らかとなった。今後これらの項目について、それぞれの領域で現状を把握し、妊婦自身の問題だけではなく、情報の積極的提供や地域資源のネットワーク化など環境整備の観点から見直し改善される対応が期待される。

3) 次の出産を希望する要因については、妊娠・出産や子育ての満足度とはやや異なり、

妊婦自身の問題や分娩機関やスタッフの問題との関連は一部に留まり、行政や、夫など家族、職場やその他社会環境との関連に限られていることがわかった。

#### D. 結 語

妊娠・出産の満足度が、子育ての満足度向上につながり、ひいては次の妊娠主体的に考えるといった流れが推測される。出生率の低下への対策は、これら満足度の向上だけでは解決し難い部分もあるが、少子化時代において、妊娠・出産時の満足度を上げるために、保健・医療・福祉等に関する社会資源全体の取り組みは、直接的な子育て支援と勝るとも劣らない極めて重要な取り組みと考えられた。特に地域環境整備に向けた行政や専門家等のマネジメント機能が重要であると考えられた。

表1 妊娠・出産期、子育てにおける満足度に影響を与える要因及び次の出産意欲への影響要因の互いの関係について

項目	妊娠・出産満足度と各要因との関連		子育て満足度と各要因との関連		次の妊娠を促す各要因との関連	
	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$	$\alpha < 0.01$	$\alpha < 0.05$
出産場所	○		—	—	—	—
母子同室	○		—	○	○	
妊娠出産についての満足度			○		○	
いいお産をするための自分自身の頑張り（妊娠中）	○		○		—	—
いいお産をするための自分自身の頑張り（お産）	○		○		—	—
産科施設に関する情報	○		○		—	—
専門職（産婦人科医、小児科医、助産師、その他）による継続的な関わり	○		○		—	—
産婦人科医の技術	○		○		—	—
産婦人科医の指導・対応	○		○		—	○
助産師の技術	○		○		—	—
助産師の指導・対応	○		○		—	—
産婦人科医、助産師以外の産科施設スタッフの技術	○		○		—	○
産婦人科医、助産師以外の産科施設スタッフの指導・対応	○		○		—	—
産科施設の設備や食事等の快適さ	○		○		—	—
保健センター・保健所等のサービス	○		○		○	
夫の理解や対応	○		○		○	
その他の家族・親族の理解や対応	○		○		○	
友人の理解や対応	○		○		○	
職場の理解や対応	○		○		○	
社会の理解や対応	○		○		○	
妊娠中の受動喫煙への配慮	○		○		○	
その他	—	○	○		—	—
不満数	○(負)		○(負)		—	—
次の妊娠	○		○			
子育ての満足度	○				○	
母乳栄養				○	—	○

※(負):負の相関

分担研究報告書

「健やか親子 21」推進の効果に関する研究

～妊娠・出産期、子育てにおける満足度に影響を与える要因及び

次の出産意欲への影響要因の多重ロジスティック回帰分析～

尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）

藤内修二（大分県福祉保健部健康対策課）

要 旨

【目的】わが国の母子保健活動の課題であり、目標でもある妊娠・出産の満足度、子育ての満足度に関連する要因を明らかにすること、すでに子どもをもうけた親が次に子どもを産みたいと思う要因を明らかにすることを研究目的とした。

【方法】無作為に選んだ182市町村の乳幼児健診（3，4か月，1歳6か月，3歳）を受診した親に自記式質問票に回答してもらった。個人単位の調査結果にその自治体の母子保健担当者に記載してもらった市町村の母子保健活動に関する情報をリンクさせて、分析した。解析は多重ロジスティック回帰分析を用い、従属変数は、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、または、次の子どもを産みたいと思うかとし、共変量は、個人調査票の項目あるいは、個人調査票に加え自治体調査票の項目とした。

【結果および考察】調査に回答した母親は妊娠・出産や子育てに満足している割合が高かった。妊娠・出産の満足度に関係していた項目は、月齢が小さいほうが多く、妊娠中の専門家の技術や周りの人の対応への満足、母児同室や母乳栄養、育児の相談相手がある、ゆったりした気持ちでの育児や育児への自信などであった。子育ての満足度に関連していた項目のうち、どの月齢で類似しており、父親の育児参加、子供と遊ぶこと、ゆったりした気持ちでの育児、子育ての自信、虐待をしていないと思うこと、育児の相談をする人を持っているなどであった。次の子どもを産みたいと思うことに関連していた項目は、妊娠・出産に満足すること、子育てに満足することに加え、父が子どもを遊ぶこと、妊娠中に喫煙していないこと、母乳栄養であること、ゆったりした気持ちで子育てできること、育児の自信が持てないことが無いことなどであった。自治体の施策との関連は一定の傾向が認められなかった。

【結語】妊娠・出産の満足度、育児の満足度、次の子どもが欲しいことは一連の関連を持っている可能性があり、父の育児参加、育児の自信を持つこと、ゆったりした気持ちでの子育てなど比較的共通の促進要因がある可能性が示唆された。

## A. 目的

わが国は、世界有数の母子保健の健康状態の優れた国である。一方で、少子化の進行はとどまることを知らず、大きな社会問題となっている。前者の理由から、母子保健活動において疾病の有無、死亡率の減少といった健康指標から主観的健康、生活の質を高める活動の重要性が認識されるようになってきている。具体的には、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度などを重視する傾向がある。これらは、単なる主観的、精神的健康を追求するためのものではなく、現代の母子保健分野におけるさまざまな問題に密接な関連があると考えられている。すなわち、児童虐待の背景には育児不安があり、それが子育ての満足度を高めることにより改善されると考えられている。そして、これらが深刻さを増す少子化からの脱却にも好影響を及ぼすのではないかを期待されている。したがって、妊娠・出産、子育ての満足度をあげ、これが少子化を食い止められれば願っても無いことなのである。そこで、本研究では、妊娠・出産および、子育ての満足度、次の子どもを産みたいと思う気持ちの関連要因を明らかにし、それらの改善方法を考察することとした。

## B. 方法

全国の市区町村から無作為に 182 市町村を抽出し、147 市町村の承諾を得 (80.8%)、3、4 か月健診 (6,109 人)、1 歳 6 か月健診 (7,490 人)、3 歳健診 (7,460 人) を受診した母親に子育てに自記式質問票に回答してもらった。調査時期は、平成 17 年 6～8 月であった。

解析方法は多重ロジスティック回帰分析を行った。従属変数は、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次に子どもを産みたいかのそれ

ぞれにした。これらはいずれも二項ロジスティック回帰分析として解析したので、妊娠・出産の満足度では、「とても満足」「満足」を満足あり群、その他をなし群とし、子育ての満足度では、「満足」「まあ満足」を満足あり群とした。次も子どもを産みたいかでは、「はい」を産みたい群とした。共変量は、それぞれの月齢の質問票の項目とした (表 1)。変数選択法は、尤度比による変数増加法を行った。

解析には SPSS13.0J を用いた。

## C. 結果および考察

### 1) 妊娠・出産の満足度に関連する要因 (表 2-5)

3、4 か月時に聞いた妊娠・出産の満足度は、妊娠・出産時の専門家の技術、周囲の人の理解や対応への満足と関連していた。また、24 時間母児同室、母乳栄養との関連も認められ、母児のスキンシップの大切さを示唆していた。母親の心理的な側面として、ゆったりした気分で子と過ごす時間がある、育児に自信がもてないときがないことが関連していた。育児の相談相手がいることも関連要因であった (表 2)。

1 歳 6 か月では、妊娠中飲酒しないこと、育児の相談相手、ゆったりした気分で子と過ごすときがある、育児に自信を持ってないことがない、子を虐待しているのではと思わない、かかりつけ医がいる、出産場所が診療所であるが関連していた。3、4 か月でも 1 歳 6 か月でもカウプ指数が大きいことが促進要因となっていた (表 3)。

3 歳では、関連する項目数が少なく、ゆったりとした気分で子と過ごすときがある、育児に自信がもてないことはない、相談相手がある (配偶者、母の親) などであった (表 4)。健

診の感想もモデルに入れるといくつか関連要因が選択されたが、モデルで実際のデータをどの程度説明できるかを見ると（モデルカイ2乗や正分類割合）、追加した効果はほとんど認められなかった（表5）。

妊娠・出産の満足度に関連する要因は月齢が若いほど要因数が多く、モデルで説明できる割合も高いが、3、4か月の解析結果においても決して高い値ではなかった。妊娠・出産の満足度は、妊娠・出産時の専門家と周囲の対応、相談相手の有無、母児のスキンシップ、母の心理的要因（育児の自信、ゆったりした気持ちなど）が重要であるといえる。

## 2) 子育ての満足度に関連する要因（表6-9）

子育ての満足度に関連する要因は、3、4か月では、父の育児参加、父が子とよく遊ぶ、妊娠・出産の満足、相談する人がいる、ゆったりした気分で子と過ごす、育児の自信が持てないことはない、虐待をしていないと思っていることであった（表6）。1歳6か月では、3、4か月と同様の項目として、父の育児参加、子と遊ぶこと、ゆったりとした気持ちで子と過ごす、育児に自信がもてないことがない、子を虐待していると思うことがないがあったが、特徴的な所見として、かかりつけ医がいることが促進要因となっており、妊娠・出産への満足度が関連しなかったことである（表7）。3歳でも同様に、父が子とよく遊ぶ、相談相手がいる、ゆったりした気分で子と過ごす、育児に自信が持てないことがない、虐待しているのではないかと思うことがないであった（表8）。1歳6か月、3歳いずれの分析においても、事故対策得点が高いことが促進要因となっており、子育てに満足している親は乳幼児の自己防止対策もよく

実施していることが明らかになった。どの月齢でもほぼ、同様の項目が関連しており、妊娠・出産の満足度に比べ、これらの項目で結果のより多く部分を説明できていた。健診の感想をモデルに入れても効果はあまり大きくはなかった（表9）。

## 3) 次の子を産みたいと思うか（表10-12）

次の子を産みたいかという質問は3、4か月にしか行わなかった。次の子を産みたい人は3割以上いたが、その割合は健診受診した子が第何子かに大きく影響された。その他の関連要因は、促進要因として、父が子とよく遊ぶ、妊娠・出産の満足度が高い、子育ての満足度が高い、母乳影響、ゆったりとした気分で子と過ごす、育児に自信がもてないことがないであった（表10）。阻害要因として、妊娠中の喫煙があった。これらの要因で次の子を産みたいかどうかという結果を比較的よく説明できていた。第1子の親に限って、同様の解析をお子なたが、結果はほぼ同じであった（表11）。第2子以上の子を持つ親の場合は、関連要因の項目数が少ないながらも項目名は上記の解析結果に含まれるような物が多かったが、そのモデルで実際の結果を説明できた割合は全体の分析と比較して極めて低かった（表12）。2子以降の（3人以上）子どもを持つことを促進する要因は今回調査した項目とは異なる次元のものかもしれない。

## 4) 自治体の対策の効果（表13-15）

自治体の母子保健、健やか親子21関連の施策との子育ての満足度との関連を検討した。子育ての満足度は、個人調査票の関連要因を用いると比較的よく説明できたが、本解析はその要

因に加え、自治体の子育て支援、母子保健の課題解決の取り組みを追加したモデルで検討した。どの月齢でもいくつかの要因が新たに認められたが、施策の関連要因に一貫性がなく、特定に意味を見出すことは困難であった。有意な項目は、積極的な母子保健対策であっても、促進要因になっていたり、阻害要因になっていたりして一貫性がなく、数多くの変数をモデルに投入したために偶然関連した項目である可能性も高い。この問題については、より適切な統計学的手法の適応も含めて、今後の詳細な検討が必要である。

#### 4) 本研究の限界

本研究はあくまで断面調査における関連を検討したもので、因果関係を結論付けているものではない。したがって、今回見出した関連要因を改善するような介入をすれば、アウトカムが改善するかどうかはわからない。今後は、今回の知見を発展させるべく、追跡調査や介入研究が発展することが望ましい。

#### D. 結 語

市町村の乳幼児健診を受診した、母親に自記式調査票を回答してもらい、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次の子どもを産みたいと思うかに関連する要因を検討した。

妊娠・出産の満足度には、専門家の対応、周囲の者の理解・対応、母児のスキンシップ、子育て不安や心のゆとりの重要性が示唆された。

子育ての満足度には、父親の育児参加、相談相手、育児の不安や心のゆとり、妊娠出産の満足度が関係していることが示された。

次の子どもを産みたいかどうかには、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、育児の不安と

心のゆとり、父の育児参加、相談相手、母乳栄養が関連していた。

今回明らかになった項目はいずれもリーズナブルなものばかりで、しかも、妊娠・出産の満足度、子育ての満足度、次の子どもを産みたいかどうか連動していることが示唆された。本研究は断面調査ではあるが、この結果は、現在推進されている子育て支援策を支持する結果であったといえる。本研究の成果を生かした、さらなる推進が望まれる。



表1 多変量解析に用いた従属変数, 共変量

月齢	従属変数	共変量
3, 4か月	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待していないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙
3, 4か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待していないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度
3, 4か月	次の子を産みたいか	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待していないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度, 住所地の市町村の施策, 子育ての満足度
3, 4か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の出生順, 子の性, 出産場所, 出産時の母子同室, カウプ指数, 妊娠出産についての項目ごと満足度, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, 生後1ヶ月の栄養法, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待していないかとの心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医, 現在の父母の喫煙, 妊娠出産の満足度, 住所地の市町村の施策
1歳6か月	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点
1歳6か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足
1歳6か月	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足, 住所地市町村の施策
3歳	妊娠出産の満足度(とても満足+満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点
3歳	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足
3歳	子育ての満足度(満足+まあ満足)	子の性別, 出産場所, 出生時カウプ指数, 妊娠判明時の喫煙, 飲酒, 妊娠中の喫煙, 飲酒, ゆったりした気分で子育て, 育児の自信, 虐待の心配, 父の育児参加, 父が子と遊ぶか, 育児の相談相手, 子の寝かせ方, かかりつけ医の有無, 休日夜間診療機関を知っているか, 心肺蘇生法を知っているか, 現在の父母の喫煙, 子供の事故防止実施得点, 妊娠出産の満足, 住所地市町村の施策

表2 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3、4ヶ月時に回答された項目(n=5007、満足=4679)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
24時間母児同室	0.380	0.120	9.980	1	0.002	1.46	1.16	1.85
カウプ指数が1上がる	0.101	0.046	4.897	1	0.027	1.11	1.01	1.21
育児の相談相手がいる	1.194	0.572	4.349	1	0.037	3.30	1.07	10.13
妊娠中の自分のがんばりに満足	0.529	0.141	14.051	1	0.000	1.70	1.29	2.24
お産の際の自分のがんばりに満足	0.521	0.147	12.598	1	0.000	1.68	1.26	2.24
産科施設の情報に満足	0.509	0.146	12.154	1	0.000	1.66	1.25	2.22
産科医の技術に満足	0.544	0.151	13.033	1	0.000	1.72	1.28	2.32
助産師の技術に満足	-0.550	0.189	8.464	1	0.004	0.58	0.40	0.84
助産師の対応に満足	0.716	0.180	15.760	1	0.000	2.05	1.44	2.91
産科施設の設備や快適さに満足	0.338	0.132	6.577	1	0.010	1.40	1.08	1.82
友人の理解や対応に満足	-0.638	0.161	15.782	1	0.000	0.53	0.39	0.72
受動喫煙の対応に満足	-0.289	0.131	4.851	1	0.028	0.75	0.58	0.97
生後1ヶ月ごろが母乳栄養	0.239	0.122	3.841	1	0.050	1.27	1.00	1.61
ゆったりした気分で過せる時間がある	0.479	0.131	13.396	1	0.000	1.61	1.25	2.09
育児の自信が持てないことがない	0.385	0.139	7.669	1	0.006	1.47	1.12	1.93

モデルカイ2乗 2180.5、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.05、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.12  
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 99.9% 全体 93.4%

表3 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する1歳6ヶ月時に回答された項目(n=5468、満足=5001)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
妊娠中の飲酒あり	-0.255	0.124	4.251	1	0.039	0.77	0.61	0.99
ゆったりとした気分で子と過せる	0.379	0.103	13.454	1	0.000	1.46	1.19	1.79
育児に自信が持てないことがある	-0.468	0.108	18.766	1	0.000	0.63	0.51	0.77
子を虐待しているのではと思うことがある	-0.414	0.135	9.407	1	0.002	0.66	0.51	0.86
育児の相談相手が配偶者	0.255	0.107	5.745	1	0.017	1.29	1.05	1.59
育児の相談相手がかかりつけ医	-0.780	0.220	12.559	1	0.000	0.46	0.30	0.71
育児に相談相手が保育士	0.322	0.164	3.845	1	0.050	1.38	1.00	1.90
かかりつけ医がいる	0.271	0.135	4.035	1	0.045	1.31	1.01	1.71
カウプ指数が1上がる	0.253	0.040	41.002	1	0.000	1.29	1.19	1.39
出産場所が診療所(対病院)	0.350	0.114	9.501	1	0.002	1.42	1.14	1.77

健診の感想を入れないモデル  
 モデルカイ2乗 3050.9、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.03、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.06  
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 91.5%

表4 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5688、満足=5142)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
出生順位が高い	0.333	0.067	24.975	1	0.000	1.40	1.22	1.59
ゆったりとした気分で子と過すことがある	0.371	0.094	15.588	1	0.000	1.45	1.21	1.74
育児に対する自信が持てないことがある	-0.387	0.096	16.272	1	0.000	0.68	0.56	0.82
配偶者が育児の相談相手	0.259	0.098	6.973	1	0.008	1.30	1.07	1.57
保育士が育児の相談相手	-0.278	0.111	6.265	1	0.012	0.76	0.61	0.94
事故対策得点が1点あがる	0.016	0.004	19.295	1	0.000	1.02	1.01	1.02

健診の感想を除いたモデル  
 モデルカイ2乗 3480.9、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.02、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.04  
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 90.4%

表5 妊娠出産の満足(とても満足+満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5273、満足=4774)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.237	0.098	5.890	1	0.015	1.27	1.05	1.53
出生順位が大きい	0.339	0.071	22.810	1	0.000	1.40	1.22	1.61
ゆったりとした気分で子と過すことがある	0.290	0.099	8.561	1	0.003	1.34	1.10	1.62
育児に対する自信が持てないことがある	-0.414	0.101	16.933	1	0.000	0.66	0.54	0.81
保育士が育児の相談相手	-0.252	0.118	4.569	1	0.033	0.78	0.62	0.98
健診感想:信頼できて安心	0.335	0.119	7.864	1	0.005	1.40	1.11	1.77
健診感想:勉強になった	0.203	0.114	3.160	1	0.075	1.23	0.98	1.53
健診感想:もっと時間が欲しい	-0.344	0.139	6.146	1	0.013	0.71	0.54	0.93
健診感想:決まりだから受けた	-0.268	0.118	5.166	1	0.023	0.77	0.61	0.96
健診感想:知っていることばかりだった	-0.441	0.215	4.231	1	0.040	0.64	0.42	0.98
事故対策得点が1点あがる	0.013	0.004	11.429	1	0.001	1.01	1.01	1.02

健診感想を入れたモデル  
 モデルカイ2乗 3160.3、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.03、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.06  
 モデル予測の正分類割合 かなり満足+満足 100% 全体 90.5%

表6 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(n=5007、満足=4663)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が良く育児をやっている	0.427	0.182	5.487	1	0.019	1.53	1.07	2.19
父が子とよく遊ぶ	0.426	0.173	6.042	1	0.014	1.53	1.09	2.15
保健センターのサービスに満足	0.289	0.144	4.028	1	0.045	1.34	1.01	1.77
家族の理解、対応に満足	0.534	0.143	14.014	1	0.000	1.71	1.29	2.26
社会の理解や対応に満足	0.315	0.158	3.954	1	0.047	1.37	1.00	1.87
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.646	0.131	156.984	1	0.000	5.18	4.01	6.71
育児の自信を持ってないことがない	0.995	0.188	28.028	1	0.000	2.70	1.87	3.91
虐待をしていない	0.641	0.138	21.669	1	0.000	1.90	1.45	2.49
育児の相談を配偶者にする	0.282	0.135	4.371	1	0.037	1.33	1.02	1.73
祖父母に育児の相談をする	0.340	0.131	6.691	1	0.010	1.40	1.09	1.82
妊娠出産に満足している	1.231	0.173	50.605	1	0.000	3.42	2.44	4.80

モデルカイ2乗 1890.8、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.12、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.29  
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 99.3% 全体 93.3%

表7 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する1歳6ヶ月時に回答された項目(n=5469、満足=4906)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
ゆったりとした気分で子と過せる	1.573	0.101	241.897	1	0.000	4.82	3.96	5.88
育児に自信が持てないことがある	-1.223	0.101	146.941	1	0.000	0.29	0.24	0.36
子を虐待しているのではと思うことがある	-0.409	0.123	10.976	1	0.001	0.66	0.52	0.85
かかりつけ医がいる	0.476	0.129	13.608	1	0.000	1.61	1.25	2.07
事故対策得点が1点あがる(22項目)	0.009	0.004	6.412	1	0.011	1.01	1.00	1.02
父が育児を良くやっている	0.315	0.136	5.378	1	0.020	1.37	1.05	1.79
父が子とよく遊ぶ	0.355	0.131	7.287	1	0.007	1.43	1.10	1.84
育児の相談相手がいる	1.462	0.437	11.185	1	0.001	4.31	1.83	10.16

モデルカイ2乗 2943.3、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.12、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.24  
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.9% 全体 89.7%

表8 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5688、満足=4910)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.476	0.094	25.590	1	0.000	1.61	1.34	1.93
出生順位が高い	0.120	0.059	4.157	1	0.041	1.13	1.00	1.27
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.672	0.098	288.751	1	0.000	5.32	4.39	6.46
育児に自信が持てないことがある	-1.164	0.092	160.076	1	0.000	0.31	0.26	0.37
虐待をしているのではと思う	-0.413	0.101	16.775	1	0.000	0.66	0.54	0.81
配偶者が育児の相談相手	0.494	0.094	27.760	1	0.000	1.64	1.36	1.97
祖父母が育児の相談相手	0.192	0.087	4.834	1	0.028	1.21	1.02	1.44
保健師が育児の相談相手	-0.688	0.331	4.320	1	0.038	0.50	0.26	0.96
事故対策得点が1点上がる	0.011	0.003	10.319	1	0.001	1.01	1.00	1.02
妊娠出産満足度が高い(とても満足+満足)	0.832	0.119	49.214	1	0.000	2.30	1.82	2.90

モデルカイ2乗 3548.5、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.16、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.29  
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.0% 全体 87.2%

表9 子育ての満足(満足+まあ満足)に関連する3歳時に回答された項目(n=5273、満足=4563)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が子とよく遊んでいる	0.505	0.098	26.469	1	0.000	1.66	1.37	2.01
ゆったりとした気分で子と過ごす時間がある	1.615	0.103	247.660	1	0.000	5.03	4.11	6.15
育児に自信が持てないことがある	-1.182	0.096	151.234	1	0.000	0.31	0.25	0.37
虐待をしているのではと思うことある	-0.397	0.106	14.158	1	0.000	0.67	0.55	0.83
配偶者が育児の相談相手	0.455	0.099	21.257	1	0.000	1.58	1.30	1.91
祖父母が育児の相談相手	0.187	0.091	4.225	1	0.040	1.21	1.01	1.44
保健師が育児の相談相手	-0.736	0.344	4.591	1	0.032	0.48	0.24	0.94
事故対策得点が1点上がる	0.009	0.004	6.400	1	0.011	1.01	1.00	1.02
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.849	0.124	46.577	1	0.000	2.34	1.83	2.98
健診感想:信頼できて安心	0.313	0.106	8.672	1	0.003	1.37	1.11	1.68
健診感想:勉強になった	0.278	0.103	7.311	1	0.007	1.32	1.08	1.62
健診感想:心理士の相談が良かった	-0.603	0.286	4.453	1	0.035	0.55	0.31	0.96

モデルカイ2乗 3237.6、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.16、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.30  
 モデル予測の正分類割合 満足+まあ満足 98.0% 全体 87.5%

表10 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(n=5007、はい=1793)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
出生順第2子	-2.122	0.085	627.949	1	0.000	0.12	0.10	0.14
出生順第3子	-3.136	0.187	280.695	1	0.000	0.04	0.03	0.06
出生順第4子	-3.053	0.373	67.074	1	0.000	0.05	0.02	0.10
子の性別が女	-0.210	0.069	9.259	1	0.002	0.81	0.71	0.93
父が子とよく遊んでいる	0.279	0.078	12.794	1	0.000	1.32	1.13	1.54
妊娠出産時産科医の技術に満足	0.193	0.084	5.288	1	0.021	1.21	1.03	1.43
妊娠出産時夫の理解と対応に満足	0.273	0.097	7.977	1	0.005	1.31	1.09	1.59
妊娠出産時職場対応に満足	0.188	0.071	6.949	1	0.008	1.21	1.05	1.39
妊娠中に喫煙	-0.412	0.149	7.663	1	0.006	0.66	0.49	0.89
生後1ヶ月時母乳栄養	0.361	0.070	26.275	1	0.000	1.43	1.25	1.65
ゆったり気分で子と過ごす時間がある	0.345	0.102	11.424	1	0.001	1.41	1.16	1.73
育児の自信が持てないことがない	0.193	0.074	6.844	1	0.009	1.21	1.05	1.40
保育士が育児の相談相手	0.309	0.154	4.055	1	0.044	1.36	1.01	1.84
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.415	0.147	7.940	1	0.005	1.51	1.13	2.02
子育てに満足(満足、まあ満足)	0.672	0.174	14.929	1	0.000	1.96	1.39	2.75

モデルカイ2乗 5057.2、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.26、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.35  
 モデル予測の正分類割合 産みたい 72.4% 全体 75.8%

表11 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(第1子の親のみ n=2527、はい=1481)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
子の性別が女	-0.302	0.085	12.677	1	0.000	0.74	0.63	0.87
父が子とよく遊んでいる	0.375	0.096	15.127	1	0.000	1.46	1.20	1.76
妊娠出産時夫の理解、対応に満足	0.355	0.114	9.743	1	0.002	1.43	1.14	1.78
妊娠出産時職場の対応に満足	0.250	0.086	8.396	1	0.004	1.28	1.08	1.52
妊娠中に喫煙	-0.574	0.184	9.699	1	0.002	0.56	0.39	0.81
生後1ヶ月時母乳栄養(対人工)	0.689	0.173	15.750	1	0.000	1.99	1.42	2.80
生後1ヶ月時混合栄養(対人工)	0.371	0.171	4.741	1	0.029	1.45	1.04	2.02
ゆったりした気分で子と過せる	0.341	0.140	5.879	1	0.015	1.41	1.07	1.85
育児の自信が持てないことがない	0.210	0.092	5.150	1	0.023	1.23	1.03	1.48
虐待をしているとは思わない	0.386	0.183	4.455	1	0.035	1.47	1.03	2.10
祖父母が育児の相談相手	0.235	0.093	6.378	1	0.012	1.26	1.05	1.52
保育士が育児の相談相手	1.008	0.421	5.722	1	0.017	2.74	1.20	6.26
妊娠出産満足度高い(とても満足+満足)	0.641	0.168	14.492	1	0.000	1.90	1.36	2.64
子育てに満足(満足、まあ満足)	0.733	0.212	11.911	1	0.001	2.08	1.37	3.16

モデルカイ2乗 3200.8、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.09、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.12  
 モデル予測の正分類割合 産みたい 83.1% 全体 64.3%

表12 次の子を産みたいと思うか(はい)に関連する3.4ヶ月時に回答された項目(第2子以上の親のみ n=2473、はい=311)

	$\beta$	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	オッズ比	95%信頼区間	
							下限	上限
父が育児をよくやっている	0.249	0.124	4.052	1	0.044	1.28	1.01	1.63
妊娠出産時友人の理解、対応に満足	0.499	0.165	9.124	1	0.003	1.65	1.19	2.28
生後1ヶ月時母乳栄養	0.378	0.125	9.212	1	0.002	1.46	1.14	1.86
ゆったりした気分で子と過すことがある	0.443	0.146	9.186	1	0.002	1.56	1.17	2.07
虐待をしているという自覚はない	-0.338	0.148	5.239	1	0.022	0.71	0.53	0.95
育児の相談相手が近所の人	-0.530	0.202	6.917	1	0.009	0.59	0.40	0.87
育児の相談相手がかかりつけ医	0.455	0.209	4.730	1	0.030	1.58	1.05	2.38

モデルカイ2乗 1821.2、Cox & Snell R<sup>2</sup> 乗 0.02、Nagelkerke R<sup>2</sup> 乗 0.04  
 モデル予測の正分類割合 産みたい 0% 全体 87.4%